

日本のHIV/AIDS啓蒙の土台を作ったDJパトリック、日本で頑張った20年間

かつてSPA!で足かけ10年にわたり連載をしていた、DJパトリックこと、パトリック・ポンマリートが亡くなった。

彼はHIVポジティブであることを早くからカミングアウトし、HIVの啓蒙に熱心に取り組んでいた人だった。

アメリカ人のパトリックは1965年、フロリダ生まれ。9歳のときに両親が離婚し、母親とスペインに移住したが、17歳のとき横田基地に勤める父親を頼って来日。10代後半を東京で過ごす。1986年ニューヨークに移り、1989年、HIVに感染していることが判明。日本がバブルに浮かれ、ディスコ(!)が大ブームだった1993年にDJとして再来日し、日本のメディアにHIVポジティブであることをカミングアウト。以来、サウンドプロデューサーとして東京を生活の拠点としていた。

SPA!でパトリックの連載が始まったのは1994年8月。

日本では、1986年、長野県松本市へ出稼ぎに来ていたフィリピン人女性がHIVに感染していたことが報道され、HIVやAIDSへの誤った知識からエイズパニックが起きた。翌1987年には、神戸で日本人女性初の感染者が確認され、さらにHIV・エイズへの差別と偏見が高まることとなった。当時はまだ、HIVは空気感染する、というような認識だったのだ。



パトリックの連載第一回目（小誌1994年8月10/17日号「パワフルHIVポジティブ パトリックのカミングアウト大作戦」）

そんなパニックも冷めやらぬ中、奇抜なファッションとへこたれないスーパーポジティブキャラクターで、偏見をはねのけ、マイノリティによりそい、HIVの正しい知識を広めていったのがパトリックだ。性同一性障害や障害者夫婦、難病患者たちに会いに行き、中学校や高校では子どもたちに「相手を思いやるセックスって、どういうことだと思う？」と問いかける。

もちろん自身に関係のあるHIVやAIDSについての情報も発信し、アメリカやタイ、オーストラリアなど、HIV感染者を減らすことに成功した国にも取材に出かけていった。

連載は2003年9月2日号までの丸9年以上、445回、その後も不定期で「HIV/AIDSの今」としてレポートを続けた。

「性感染症？何それ？ゴム買うおカネない！子どもキライだから不妊症になっても平気！」とあっけらかんと語る女子高生たちにガックリしてみたり（2002年8月13号）、アメリカ取材では合法売春宿やAV組合の厳しい検査と管理に驚いたり（2003年12月9日号）。2004年には、タイ取材で初めてAIDS末期患者の姿を目にし、号泣したこともある（5月18号）。

そして、長いHIVとのつきあいの間には、心の揺れもあった。

「ボクさあ、こんなに生きる予定じゃなかったんだよね」とパトリックが言ったのは、HIVに感染して10年目を迎えたころ。

「お薬をやめればいずれAIDSを発症する。でも、薬を飲んでいれば一生大丈夫かどうかは、わからない。2000年までは頑張ろう！っていろいろ目標を立てたけど、大部分はかなってしまった」（1998年7月1日号）

パトリックがHIVに感染した80年代後半、HIVの薬は1種類しかなく、同時期に感染した人は、1、2年でAIDSで亡くなっていた。その後、新薬が次々と開発され、「AIDSは死の病」ではなくなり、パトリックも「次はHIV感染20年を目指すんだもんね〜♪」と目標を変更。その目標もクリアし、今年は感染から24年目を迎えたところだった。

車をぶつけられておしゃかにされても、つとめていたお店がつぶれて借金ができて、彼氏に振られても、いつだって不死鳥のようにパワーチャージして甘えてくる、憎めないヤツだったが、最近では体調も経済状態もあまりよくなかったようだ。

パトリックとは20年以上のつきあいになる主治医の岩室紳也先生（厚木市立病院泌尿器科）は、今回の訃報に接し、以下のように語る。

「パトリックは、日本のHIV対策、予防、HIVとともに生きることを教えてくれた最初の人だと思います。その功績は計り知れないし、今の私があるのもパトリックのおかげです。彼に勇気づけられた人もたくさんいるでしょう。寂しいです」

パトリックがいつも講演などで話していたのは、「自分らしく生きること。自分を大事にすること。自分で考えて自分で決めること」。

20年近く日本でHIV・AIDSの啓蒙を行ってきたのも「自分で選んだ国だから」だ。

「2000年までは頑張りたいな」と常々言っていたパト。プラス13年分、よく頑張ったと思うよ。ご冥福を心よりお祈りします。

⇒ **【画像】** パトリックの連載最終回（週刊SPA！2003年9月2日号より）

https://nikkan-spa.jp/?attachment_id=424626



パトリックの連載最終回（小誌2003年9月2日号「パワフルHIVポジティブ GO！GO！PATRICK！」）

<文／元パトリック連載担当>

トップ > 日本のHIV/AIDS啓蒙の土台を作ったDJパトリック、日本で頑張った20年間 > 【訃報】日本のHIV/AIDS啓蒙の土台を作ったDJパトリック、日本で頑張った20年間

ニュース

2013年04月17日

日本のHIV/AIDS啓蒙の土台を作ったDJパトリック、日本で頑張った20年間



パトリックの連載最終回（小誌2003年9月2日号「パワフルHIVポジティブ GO! GO! PATRICK!」）